

# 長崎高教組新聞

発行 長崎市中川2丁目2番5号  
〒850-0013 長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 大場雅信  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む

メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp

## 2013年度

### 金沢分会長・支部代表者会開催 今こそ組織拡大に踏み出すとき、

### 高教組のとくくみを広げよう！

3月30日(土) 長崎高教組は、諫早市高城会館で、2013年度全県分会長・支部代表者会を開催しました。県下各地から新旧の支部代表者、新分会長など新しい顔ぶれがそろい活気ある集会となりました。集会の参加者は合計51人でした。

この集会は、年度始めに当たって、1年間の職場のとりくみを確認すること、分会長・支部代表者の交流などを目的として例年開催しています。今年度は、組織の強化、拡大の重要性が強調された集会となりました。

全体会では、大場委員長が「教育をとりまく情勢は、教育の管理強化、教育条件の悪化、労働環境の悪化などますます厳しいものになっている。このような状況を打開することが必要だ。今こそ、私たちの高教組のとくくみを広げよう」と挨拶、その後、馬場書記長から、2012年度の要求活動の到達点について、退職金削減の一部縮小、実習教員の2級各付けの改善、超勤縮減のための具体策実施の3点について要求が前進したことが報告されました。

また、今年度のとりくみについては、職場活動の活性化と組織拡大のとりくみの必要性を掲げ、そのためにはまず組合員が集まる機会をつくることが重要だ。具体的に、「年度当初の職場集會開催や、新分会長を迎える懇親会・昼食会の開催」、そして、職場で組織拡大のとりくみについて、「分会で出来ることから始めよう」と提案されました。



▼交流会で団結ガンバラー ▲会場いっぱい集まった参加者



馬場書記長の報告・提案について、「超勤縮減のためのプラス1推進運動が職員会議で議論され

ているところは少ない。こうした中で、プラス1推進運動をどうとりくんでいくのか(長崎支部:深松書記長)、「来年度から定年退職者が61歳になるまで年金がでない。現場は大変だが、定年以降も再任用をせざるを得ない中で、再任用が増えることが考えられる。再任用の制度はどうなるのか(佐世保商業井野口分会長)の質問が出ました。

これに対して、本部執行部から、「超勤縮減のためのプラス1推進運動は、各学校で管理職がきちんと対応していないことが問題。県教委には、改めて、現場での実効のあるとりくみとなるよう

強く要請したい」「14年度以降の、60歳以上の雇用については、国家公務員では、15年度までは、定年延長ではなく、フルタイム再任用の原則義務化が閣議決定された。地方公務員は、『国家公務員に準ずる』として制度設計がなされることを予想される」ことを説明しました。

全体会の後、6分散会に分かれて、組合員が集まって語り合う場をどうつくるか、組織拡大のために、分会で何が出来るのかなどをテーマにして討議しました。

各分散会での参加者の主な意見・感想は次のとおりです。

#### 第1分散会

##### 「分会長として頑張ろう」という気持

**島原支部 松本支部長**  
異動・退職などで急激に分会員数が減っており、職場では組合員の少なさの影響を感じるが、署名などはきちんと出ている。会議での発言、情報の発信など出来る限りのことはしたい。

強く要請したい」「14年度以降の、60歳以上の雇用については、国家公務員では、15年度までは、定年延長ではなく、フルタイム再任用の原則義務化が閣議決定された。地方公務員は、『国家公務員に準ずる』として制度設計がなされることを予想される」ことを説明しました。

全体会の後、6分散会に分かれて、組合員が集まって語り合う場をどうつくるか、組織拡大のために、分会で何が出来るのかなどをテーマにして討議しました。

各分散会での参加者の主な意見・感想は次のとおりです。

#### 第2分散会

##### 原則的なことをきっちりやれば、必ず成果は出てくる

**長崎支部 深松書記長**  
組合拡大に関して、本音で語り合えたので大変よかった。議論を聞いていて、改めて「助け合い」という組合の根本に立ち返ることが出来たように感じた。今年度1年間またがんばれるような気持ちで湧いてきた。

**北松支部 白濱前書記長**  
組織拡大は重大なとりくみ。がんばらないといけない。その点では今日の会議でいろいろな職場のことを知ることができたので勉強になった。

#### 交流会での一コマ



森副委員長が役員として披露する最後の歌声に聞き入る聴衆



### 特別報告 対馬支部 小杉支部長 豊玉分会で青年教職員新加入!

豊玉分會より、4月1日付け、新組合員加入のお知らせが届きました。全県分會長会で、該分會の小杉支部長にその「特別報告」をしてもらいましたので、その概要を掲載します。

「青年教職員の組合加入が実現しましたので報告します。早くから組合加入をすすめていたわけでは



ではないのですが、ご本人の生徒に対する思いと同僚の先生方の生徒に対する指導の違いに悩んでおられたので、そのことについてお話を聞くとともにいろいろな話をしました。その中で、今年度の県教研芸術分科会について触れ、長崎高教組の教研では、芸術などの少数教科での悩みを話せるいい機会

であることを含めて組合の活動を説明したところ、組合に理解を示してくれました。そこで、思い切った組合加入を勧めたところ、加入を決断していただきました。」

### 第3分代会 分会内の仕事分担を明確にしよう

**長崎支部 大野支部長**  
職場集会在定期的に行われていない分会が多いため、要求、署名活動が取り組まれていない状況もある。分会内の仕事分担を明確にし、組合活動を円滑に進めること、職場全体への情報発信、職場の要求をどのようにまとめていくか支部内で知恵を出していききたい。

### 大村全日 出口分会長

魅力ある職場づくりをすすめるため、出来ることは何かを分会員と相談し、やっていきたい。支部、本部と連絡を取りながら1年間頑張りたい。

### 島原工業 釣船分会長

全県分会長会に参加し

### 第4分代会

#### 他校の実践を参考にして要求を実現させたい

**佐世保支部 池田書記長**  
組合に加入することで人事異動の交渉、教育研究集会での教員としてのスキルアップ、分会員同士のつながりが深まるなどのメリットがある反面、分会長など役員は業務増となる、組合費の財政的負担がある、様々な組合のとりくみに参加しないといけないなどのデメリットもある。組合員のメリットをはっきり打ち出すことが必要。

### 大村支部 藤田前書記長

「働きやすい職場を目指して」メッセー「や」な

環境の違い、勤務条件の違いがよくわかった。受験競争の激化で組合の活動も停滞しがちですが、他校の実践を参考にして要求を実現させたい。

### 鳴滝夜間 鳥山分会長

職場環境が違う先生方と情報交換ができたことが有意義でした。他校の情報発信を職場や生徒に還元

### 第5分代会

#### 地道に、長続きできる活動をしていきたい

**対馬 樋口分会長**  
組織拡大の方策など日頃悩んでいることに、ヒントを教えることに関心。また分会活動で取り組むべきことが確認できた。組合員が少なくなくて活動が厳しいが、組合の意義を意識しながら仲間を増やしていきたい。

### 諫早東 牟田分会長

毎日が忙しいばかりで、周りのことを考える余裕がなかったが、分会長としてできることからやろうと思っている。また、職場の同僚と協力してやっていきたい。

### 大村支部 柄本支部長

教職員が持っている権利が権力の都合で次々と奪われていく。組合員が集まって話せる機会をつくっていくために教研

### 第6分代会

#### まずとりくむべきことは組織拡大だ

**佐世保商業井野口分会長**  
長崎高教組のよいイメージをしっかりと伝えていくことが今後の発展につながる。ネットを通じて本部と青年教職員との討議、動画の発信などやる

かけて考えていきたい。できるような心がけたい。

### 北陽台 武富分会長

組合員の高齢化、多忙化で職場集会在開きにくい。職員室での雑談もできにくい雰囲気だ。管理職によって職場の雰囲気

## 2013年人事異動について

高教組は、3月22日と25日に2013年度人事異動について県教委折衝を行いました。分野別の課題については内容は次のとおりです。

○養護教諭の定数改善(複数配置など)  
今年度新設の虹の原特支高等部の老岐分教室に養護教諭1名が配置され、県全体では定数が1人増となつていきます。

○再任用の配置  
教諭111人(フルタイム23人、短時間88人)、事務10人、実教11人、海事職3人の合計135人、前年より10人増加しています。再任用希望を出していたが辞退した人の数について県教委は「5人に満たない」と述べ、地域や校種が希望と違うことより、私学での採用が決まったことなどを理由とする例が多かつたと説明しています。短時間勤務者の配置については、特定の学校に集中し、特定を求めています。このことを指摘して高教組が追及すると県教委は「老岐分教室に優先して配置すべき状況があつた」と説明しました。高教組は、重ねてすべての分教室に専任の養護教諭を配置することを求めました。

○副校長の配置、教頭の複数配置  
佐世保特支が副校長1人から、副校長1人、教頭1人になり、教頭の数が増加。県教委は、佐世保

長崎明誠 金子分会長  
組合活動の現状がよくわかった。少しでも組織拡大の方向に進んでほしい。たらいと思っている。会議は効率よく短時間でこなうべきだ。

### 長崎明誠 金子分会長

今回の人事異動から、事務職員の県立・義務制間の交流人事を拡大する方針がとられた。結果、結果は、異動した4人とも希望した人」と説明。

## 13年度県教委関係予算について

高教組が行った県教委折衝などで、13年度の県教委関係予算の概要が明らかになった。予算総額は約140.9億円。児童・生徒数の減少にもなると、教職員給与減少の影響で、12年度当初予算より約20億円の減少。新規事業など行政経費は4億円強の増額となっている。新規事業及び拡充事業の主な内容は次のとおり。

- ICT化推進事業(新規) 約1億4千万円  
電子黒板やタブレットPC(50台)などを県立学校5校、小中学校12校に整備。県教委は「どの学校につけるかは検討中、偏りがないようにいろいろなタイプの学校に配置したい」としている。遠隔授業システムを教育センターと県立学校17校に整備。県教委は「13年度は離島地区が中心、将来的には全校に整備予定。センターと学校間だけでなく、学校間の利用も想定している」としている。
- 外国語教育強化推進事業(新規) 約600万円  
県内の小5、中2を対象とした県独自の学力テストを実施。
- おしかげ総文祭開催事業(拡充) 約2億円  
○北部九州ブロック高総体開催事業(拡充) 約1億9千万円
- ※高教組は、異動した教職員は、異動した人にとりくみ、問題がなかったか調査し、県教委に対する交渉を行います。アンケート以外でも、問題だと思われる人事がありましたら、高教組本部の書記長までご連絡ください。
- 長崎県学力調査事業(新規) 約600万円  
県内の小5、中2を対象とした県独自の学力テストを実施。
- おしかげ総文祭開催事業(拡充) 約2億円  
○北部九州ブロック高総体開催事業(拡充) 約1億9千万円
- ※高教組は、異動した教職員は、異動した人にとりくみ、問題がなかったか調査し、県教委に対する交渉を行います。アンケート以外でも、問題だと思われる人事がありましたら、高教組本部の書記長までご連絡ください。